



「シンプル」→「伝わる・わかる」→「つながる」→「安心」

学校だより

令和 6年 3月 1日
東京都立羽村特別支援学校
校長 外山 裕介

文責 副校長 有馬 宏子

春よ 来い (51) ! 濃い51周年に向けて

いよいよ令和5年度も残すところわずかとなりました。昨年12月20日に50周年記念式典があり、大きな節目をお祝いすることができました。改めて、PTAの方々を始め、地域の方々の御協力に感謝申し上げます。



今年度は、コロナ禍にあった3年間を明けて、学校では教育活動がどのようにあるべきかを改めて考える機会となりました。

行事が徐々に復活し、特に宿泊行事については、感染症対策などの理由から、これまでより行先が近距離になるなどしたものの、再開させることができました。日頃とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や、よりよい人間関係の形成について考える機会となり、学校における学習の充実・発展にもつながりました。

2月2日には、学校運営連絡協議会が開催され、皆様に御協力いただいた学校評価アンケートを元に学校教育を見直す機会となりました。その内容は2月20日の全校保護者会においてお知らせいたしました。

安心安全な学校において、一人一人の成長を促せるよう、各家庭との連携を大切にしながら進めてまいります。今後とも御協力をお願い申し上げます。

進級をはじめ、卒業や入学など新しい生活を迎える節目のこの時、春よ来い！福よ来い！

地域とのつながり

地域において社会的役割や楽しみをもったり、相談しながら困難を解決したりして生活を豊かにすることは、卒業生の生活を見てもつくづく大切だと感じます。日々の授業でも地域での学習は、卒業後の自己実現への橋渡しとしての一歩になるかと思えます。

2月17日には、在校生、卒業生をはじめ地域の方々を対象にフライングディスク講習会を開催し、大人も子どもも一緒に余暇を楽しみ大盛況でした。

今年度の進路指導部では地域会の充実にも力を入れてまいりました。参加された方からは、「保護者同士の

(右上に続く)

のつながりができてよかった」「子どもの育ちに関する話ができてよかった」などの声が聞かれました。

地域資源を活用するために、まずは相談支援事業所とつながり、「本人がどんな生活をしたいか」を大切に、サービス等利用計画を作成していくこともお勧めしています。子供たちが将来にわたり、自分自身の生活を自分で選んで自分で決めていき、少しでも保護者の方々の安心につながるよう、学校はつなぐ役割を担うことも重要だと考えています。

3月18日 人事異動の発表があります

昨年度より、東京都の人事異動の発表は、4月1日付ではなく、年度内に発表されることとなっています。

発表は令和6年3月18日(月)夕方にプレス発表の予定です。

学部毎に、児童・生徒と教員とのお別れの機会を設ける予定です。詳細は後日お知らせいたします。

「羽村特支のむかし話」

3月【未来に向かって】

今年開校 50 周年を迎えた本校ですが、長い歴史の中には、あきる野学園と分かれたり、来たる令和 9 年 4 月には北多摩特支 (仮称) と分かれたりするなど、いろいろな変遷を経て学校は変わり続けてきました。これからの 10 年、20 年、・・・50 年先に向かって、さらに大きく成長していきたいです。



御協力をよろしくお願いいたします。

御協力ありがとうございました

PTA 広報にもありましたように、ペットボトルキャップ、インクカートリッジ、ベルマークの回収は3月で終了です。御承知おきください。